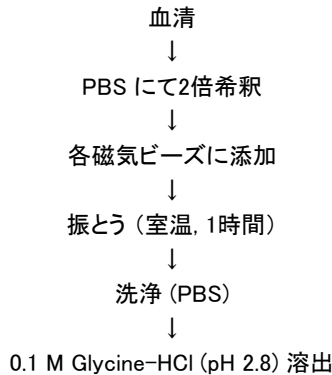


Protein G 磁気ビーズとの比較

マウス、ラット血清

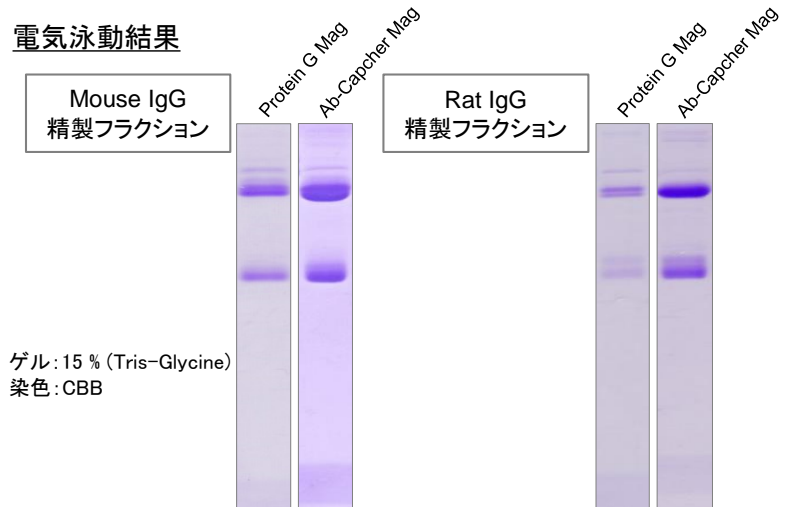
精製の流れ



IgG 結合量

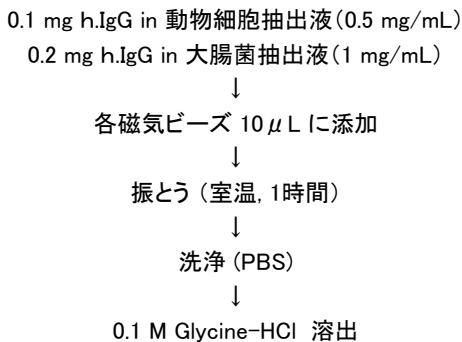
	(mg/mL gel)	
	Mouse	Rat
Protein G Mag Sepharose	12.1	5.1
Ab-Capcher Mag	48.3	25.8

電気泳動結果



IgG 添加回収実験

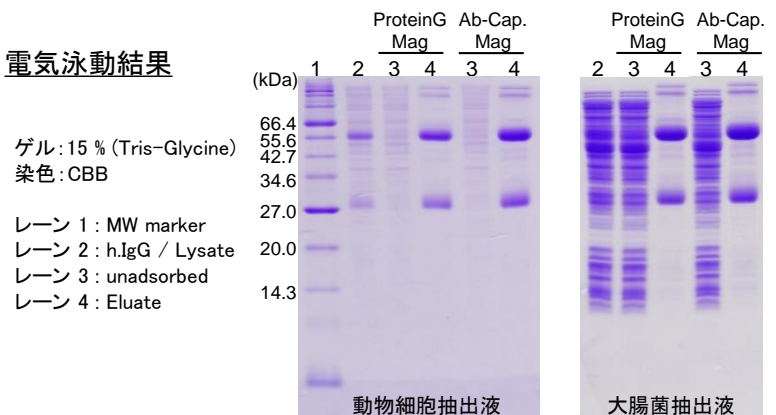
実験の流れ



IgG 結合量

	動物細胞抽出液 回収率	大腸菌抽出液 回収率
Protein G Mag Sepharose	61.7%	70.9%
Ab-Capcher Mag	70.4%	72.3%

電気泳動結果



Ab-Capcher Mag と実験でよく使用される Protein G 磁気ビーズ製品とを比較した。

まずマウス、ラット血清から両磁気ビーズを用いて IgG を精製し、その収量と純度を比較した。その結果、マウス抗体において Ab-Capcher Mag は Protein G 製品の約 4 倍、ラット抗体においては約 5 倍の IgG を精製できることがわかった。また溶出画分を電気泳動にて純度チェックしたところ、精製純度は良好であった。

次にヒトIgG を HeLa 細胞抽出液と大腸菌抽出液にそれぞれ添加し、添加回収実験を行った。その結果、Ab-Capcher Mag の回収率は70%以上で、溶出画分を電気泳動に供したところ、Protein G 製品と同等の精製純度であった。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>